

ふれあい

第55号(平成25年11月1日)
 阿品台コミュニティ 事務局(TEL39-4338)
 阿品台地区人口・世帯数(平成25年10月1日現在)
 人口8,625人(472人減) 男4,024人 女4,601人
 世帯数3,500世帯(74世帯減)・高齢化率25.5%(5.2%増)
 (参考:市平均25.1%(0.7%増))
 ()内の数値は平成25年2月1日との比較

「育てよう “元気なあじなっこ”」

学校支援活動

平成25年2月から阿品台東・阿品台西小学校
 ・阿品台中学校で支援活動が実施されました

★学校支援活動のねらい

「廿日市市学校支援地域本部設置要綱」に基づく事業で、その“ねらい”は、地域に根ざした教育環境づくりを学校教育の場での「支援」といった形で具現化し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の拡充と地域の子どもたちは地域で育てる態勢づくりの強化並びに子どもたち一人ひとりが「生きる力」を身につけることを目指すものです。



1.「学校支援活動」の目的

学校の教育活動をより充実させるために、地域や保護者の方々の持っておられる知識や技能・経験などを、子どもたちの教育のために役立ちたいという熱い思いを生かして、学校の教育活動を支援していただくものです。

2.「学校支援活動」の現在の具体的内容と現況

活動名	内 容	対象学年
新1年生の見守り 下校支援	・新1年生が安全に下校できるように引率の支援	1
国語科の支援	・教師による指示(学習態度の確認や学習意欲の喚起、読み書きや内容理解など)の徹底や指導の補助 ・毛筆指導での準備・片付の支援や指導(筆運びや筆順など)の補助	1～6
算数科の支援	・教師による指示の徹底や指導(学習態度の確認や学習意欲の喚起、計算学習や内容理解など)の補助	1～6
生活科の支援	・野菜の作り方、畑の耕し、校外学習の見守り・引率と学習目標達成に向けた支援	1・2
図画工作科の支援	・表現方法等(作り方の手順や見通し、彫刻等の扱い方など)のアドバイスを学習意欲の喚起など	1～6
家庭科の支援	・アドバイス(縫物や調理実習など)を行い、学習意欲の喚起を図る支援	5・6
総合的な学習の時間の支援	・校外学習の見守り・引率を行い、学習目標の達成に向けた支援	3～6
朝の会の支援	・朝の様子を見守り、学習に入りやすいように意欲を喚起する支援	5
登下校の安全支援	・登下校の見守りを行いながら、挨拶運動を行う支援	1～6
読み聞かせ活動支援	・読み聞かせを通して、読書に親しみ、豊かな感性をはぐくむ支援	1～6

3.「学校支援活動」の実施体制

学校支援ボランティアを地域から公募し、支援の内容に応じて学習支援者登録を行います。現在、40名程の皆様から登録を頂いております。

4.現況の問題点

ご登録いただけても、学校に来ていただける方が、固定化する傾向にあります。来ていただける皆様の負担が大きくなりつつあるように思います。責任感を感じておられる方が多いので、無理をされていないか、気がかりです。

5.今後の対応

本校に通う児童の祖父母の皆様を中心に、お孫さんの学校での様子を見に来ていただけると嬉しいです。気軽に参観日のつもりで、見にいらしてほしいです。

6.阿品台コミュニティへの期待・要望

学校支援ボランティア活動は、「できる人ができることを、できる時」に行う活動として位置付けています。何か、特技のある人でないといけないと思われず、気軽に児童の学習の様子を参観してください。そして、励ましや注意をしてくだされば、結構です。どうぞ、お一人でも多くの方に、今の学校現場に足を運んでいただき、児童と触れ合っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

7.「学習支援ボランティア活動」への感想

【児童から】

- ・困ったときにサポートしてくれて、本当にうれしかった。
- ・地域の人と勉強すると、勉強が好きになった。
- ・地域の人に加わると、もっと違う楽しさがある。

【教職員から】

- ・一人一人に目が行き届き、安全に学習を進めることができました。
- ・あいさつ・行儀など、多くの大人の目があることで身につきます。
- ・ほめられる機会が増え、児童が学習に意欲的になれます。

【保護者から】

- ・昔と比べ世代交流が減った中、こういった形で少しでもお話できることは子ども達にとって、とても大切なことと思います。感謝しております。

現場の支援状況

支援者の方々は先生の眼が届きにくい子供への手助け、さりげなく言葉を掛けたり、落ち着きのない子供への諭し等々行うことで授業に参加しやすい環境を作っています。子供たちも、素直に従っており、支援者の方が傍に居るだけで安心しているようでした。

ボランティアルームでの支援者等の声

- ・一人ひとり皆素直で頑張っていると思う。中には集中できない児童がいて、ついそちらの方へ関心を向けてしまいます。
- ・子供の笑顔で元気がもらえた。
- ・望ましいのは一人でも多くの方が様子を参観し支援者登録をしてほしい。
- ・敷居が高くできないと思っていたが、やってみると無理なく入り込め、今ではやりがいを感じている。
- ・阿品台地域の方々は、支援ボランティアに「力」を入れていただいて感謝している。子供たちの育成には、行政・親・学校(地域)が一体となる事が大切だと思う。

子どもたちの反応

- ・「またキター！」の声で喜びが伝わります。
- ・支援者が教室に入る前と後で雰囲気が変わります。
- ・落ち着きがでてきたようです。
- ・私語が少なくなったようです。

あじなっ子応援団支援調整会議

行政、学校(阿品台東小学校・西小学校・中学校)、地域(あ東っこ・あ西っこ応援団)の代表の方が毎月集まり、夫々のあいさつの後、支援の現状報告、学校から今後の支援予定、その他問題点や改善点などが協議されています。

その他

学校の教諭と支援者との交流を図る目的でボランティア交流会も行われました。阿品台東小学校では教科による偏りはあまり見られないようですが、継続的に支援されている割合が3割程度で一部の支援者に負担が掛かっています。阿品台西小学校では実務系を中心に6割程度の方が継続的に支援されている状況です。阿品台中学校では英語・数学の補充学習や部活支援が多いようです。



★『小・中学校教育支援活動に地域力を』

あじな東っ子応援団会長 関口 禮伸

本年一月十七日付けで、阿品っ子応援団募集のチラシを、地域住民の皆様呼びかけましたところ、三十数名の方々が、手を上げてくださり、中学校区三校の支援事業がスタート致しました。一昨年の九月に阿品、阿品台コミュニティを介して本事業の趣旨説明が行われ、本事業を地域の皆様方にご理解して頂き且つ、支援体制を根付かして行くための、色々な問題点を支援者の皆さんと、学校側の先生方と議論を進めて参りました。三月迄は、試行期間として取り組んで参りましたが、新学期より支援をお願いする授業日程が事前に示され、皆様方に予め支援可能日を記入戴き、その日に来て、授業に入って頂くシステムが生まれ、支援が開始されました。以来六ヶ月が経過する中、本件に携わる者の一人として、感じたままを述べてみたいと思います。

まず一つは、子供達が毎日ボランティアの人達を楽しみに待っていると云う現実。

二つ目は、子供達が多様化する家庭環境の中、親の愛に乏しい子供達が多い現実。

三つ目は、私たちの日々のボランティア活動が決して無駄ではなく、子供達の学校生活に好結果をもたらしている現実。この三つの現実を見るにつけ、地域ボランティアの必要性を強く感じました。

しかし、残念ながら、実際に協力頂いているボランティアの方は、まだまだ一握りの方々であり、絶対数が不足しております。折角学校に登録して戴きながら、活動の機会が与えられないままになっておられる方も多数おられます。是非教室に来て頂き、子供達を見守り励ましてやって下さい、どんなにか子供達が喜ぶ事でしょう……未登録の方でも本事業に協力して頂けるボランティアの方はどうぞ気軽なお気持ちで学校にお越し下さい。ボランティアに参加して頂いている皆様に感謝し、そして子供達にとって学校がすばらしい花園であることを願ってやみません。

第34回阿品台夏祭り

8月3日(土)の夜、第34回阿品台夏祭りが例年通り開催され、多くの人々が楽しい夏の夜を過ごされました。

今年は若い人の参加が目立ち

つもとより元気ある祭りとなり

ました。また昨年より大き

な舞台を用意したため出

演者が全員舞台上で演

技でき、観客・出演者の

皆さんに喜ばれました。



阿品台敬老会

9月16日敬老の日、日本赤十字広島看護大学において阿品台地区の75歳以上の911名の招待者の内266名が出席されて阿品台敬老会が盛大に開催されました。

廿日市市長をはじめ多くの来賓の皆様の祝辞、相撲甚句の祝い唄、日赤看護大の吹奏楽演奏、幼稚園児の合唱等のアトラクション等で皆さんのご長寿をお祝いしました。



体育部・青少年部

交流ウォーキングと宝探し

日時：6月30日(日)9:00～約100名参加

コース：①4.1kmコース(約30名) ②2kmコース(約70名)大人と子供約100名が東小学校の体育館に集合し、入念な準備体操の後、各コースに別れて元気よく出発しました。天候も丁度よく、ふじタウンの瀬戸内海を見渡せる休憩ポイントでは、涼しいそよ風を感じ、心も体もリラックスできました。ゴールの阿品公園まで楽しくウォーキングをすることができました。ウォーキングの後は子供達の宝探しを行い、うれしいお土産を参加者全員がゲットして喜んでいました。今後も多くの皆さんの参加をお待ちしています。

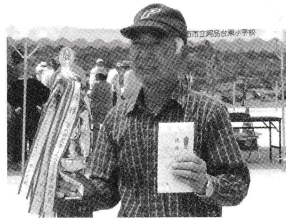


体育部

第27回グラウンドゴルフ大会

5月18日(土)五月晴れの下、阿品台東小学校のグラウンドに元気なシニア約80人の参加で行われました。

優勝者は阿品台山の手の高岡和信さんです。おめでとうございます。



文化部・女性部

母の日コンサート

日時/平成25年5月12日(日)13:30(開演)

場所/阿品台市民センター

出演/尺八・関口禮伸、箏・石川恵子、後藤久子

第一部はお子さんといっしょに楽しく歌う企画。

第二部は尺八と箏の演奏で春の海、春の姿などの春にちなんだ多くの皆さんの年代にぴったりでした。



サマーコンサート

日時/平成25年8月25日(日)13:30(開演)

場所/阿品台市民センター 1階大研修室

出演/廿日市ベンチャーズ

夏の終わりの
♪～テケテケ♪
～サウンド、約
70人のお客さま
と楽しく過ご
しました。



女性部

松ぼっくりの狸作り

日時/平成25年6月27日(木)

場所/阿品台市民センター

講師/阿品台市民センター

手芸クラブの方々

出席者/10名

大王松の松ぼっくりが
酔っぱらい狸に変身。



市民センター共催

世界の料理シリーズⅠ オマーン料理

日時/平成25年7月1日(月)

場所/阿品台市民センター

講師/渡辺美智子 出席者/16名

オマーン広島協会の方3名が来られてオマーンの国の紹介。

市民センター共催

M's kitcehn 森永乳業協賛

夏休みみんなで楽しく親子クッキング

日時/平成25年8月5日(月)

場所/阿品台市民センター

出席者/22名(親子11組)

世界の料理シリーズⅡ 市民センター共催 モンゴル料理

日時/平成25年9月25日(水)

場所/阿品台市民センター

講師/ザヤさん(モンゴル出身)

出席者/16名



編集後記

学習支援活動の効果が表れつつあるようです。これも支援者はじめ関係者のご尽力の賜物です。今後も子ども達のために「支援」の輪が広がることを期待します。(K.I)